

高知県室戸沖「海底地震総合観測システム」の障害復旧について
(お知らせ)

1. 状況

海洋研究開発機構（理事長 加藤 康宏）が運用している海底ケーブルを利用した高知県室戸沖「海底地震総合観測システム」（平成9年3月設置、[図1参照](#)）は、平成17年8月16日、午前7時37分から、先端観測装置（水温、塩分、深度、流向・流速、層流別流速、設置水深3,303m）、海底地震計1（設置水深2,087m）、津波計1（設置水深2,308m）からのデータ取得が中断していましたが、平成18年3月28日、午後15時に復旧いたしました。

2. 障害の原因と復旧作業内容

障害原因は海底ケーブル給電線の絶縁体損傷によるものでした。復旧工事は海底ケーブル敷設修理専用船で行いました。

なお、海底地震計2（設置水深1,267m）および津波計2（設置水深1,507m）は、従来どおり正常に稼動しています。

お問合せ先

海洋工学センター 海洋技術研究開発プログラム
海底観測ネットワーク技術研究グループ 浅川 賢一
TEL 046-867-9577

経営企画室 報道室長 大嶋 真司
TEL 046-867-9193